



第38号

○発行年月日
平成29年3月30日
○発 行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
TEL 0470-28-2422
FAX 0470-28-2424
<http://www.nakazato.or.jp/>



アートセラピーにて

アートセラピーを月1回開催
しています。今回は、プラカップに
紙ねん土をつけて世界に一つだけの
マイカップを作りました。



法人

祝 新成人

支援員 森村 誠

に支えあい、利用者の方たちと一緒に成長できる幸せをあらためて感じました。

新年会では、里見香華先生の弟子による新春の舞、網代やすお様の歌謡ショー、

と一面の銀世界。房州では珍しく積雪があり、小雪舞う中の「新成人を祝う会 新年会」の幕開けとなりました。

今年は「中里ワークホー

ム」ご利用の方1名、「ワー

クス館山」ご利用の方1名、「

桜の里」ご利用の方4名、

合計6名の方が成人式を迎えました。式典前に記念撮影を

会場にて行いました。久しぶりに会う同級生、そしてご家

族。立派に成長した姿に喜び

と。これまでの20年の歩みを

振り返り、幸せな時間となりました。

式典が始まり、とても緊張している新成人の皆様、慣れぬ雰囲気に戸惑いながらも、盛大な拍手に見守られ笑顔で入場、来賓の方々、たくさんの中間たち、職員の暖かい眼差しに支えられ着席し、



▲新成人を代表して



▲新成人の皆さん おめでとうございます。

に支えあい、利用者の方たちと一緒に成長できる幸せをあらためて感じました。

新年会では、里見香華先生の弟子による新春の舞、網代やすお様の歌謡ショー、

と一面の銀世界。房州では珍しく積雪があり、小雪舞う中の「新成人を祝う会 新年会」の幕開けとなりました。

今年は「中里ワークホーム」ご利用の方1名、「ワークス館山」ご利用の方1名、「桜の里」ご利用の方4名、合計6名の方が成人式を迎えました。式典前に記念撮影を会場にて行いました。久しぶりに会う同級生、そしてご家族。立派に成長した姿に喜びと。これまでの20年の歩みを振り返り、幸せな時間となりました。

式典が始まり、とても緊張している新成人の皆様、慣れぬ雰囲気に戸惑いながらも、盛大な拍手に見守られ笑顔で入場、来賓の方々、たくさんの中間たち、職員の暖かい眼差しに支えられ着席し、

に支えあい、利用者の方たちと一緒に成長できる幸せをあらためて感じました。

新年会では、里見香華先生の弟子による新春の舞、網代やすお様の歌謡ショー、

と一面の銀世界。房州では珍しく積雪があり、小雪舞う中の「新成人を祝う会 新年会」の幕開けとなりました。

今年は「中里ワークホーム」ご利用の方1名、「ワークス館山」ご利用の方1名、「桜の里」ご利用の方4名、合計6名の方が成人式を迎えました。式典前に記念撮影を会場にて行いました。久しぶりに会う同級生、そしてご家族。立派に成長した姿に喜びと。これまでの20年の歩みを振り返り、幸せな時間となりました。

式典が始まり、とても緊張している新成人の皆様、慣れぬ雰囲気に戸惑いながらも、盛大な拍手に見守られ笑顔で入場、来賓の方々、たくさんの中間たち、職員の暖かい眼差しに支えられ着席し、

ワークス館山

地域に根ざした事業所へ

所長 杉村利之

館山市湊にあるワークス館山は平成28年10月より、地域で暮らす障害のある方々の仕事の場となることを目的に、就労支援B型事業所となり新たにスタートしております。

湊地区は利便性が高いこともあり、ご利用されている方の多くが自主通勤されていること、また地元企業にご協力いただきながら日々の仕事が創出されていることなどが当事業所の特徴です。

近隣の畑や温室をお借りしての農耕作業も間もなく本格始動いたします。障害のある方々が日々、やりがいを持ち、充実して仕事に励んでいただけるよう、地域の方々と共に存しながら事業所の発展を目指していきたいと考えてありますので、今後とも皆様方のご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。



▲㈱マービーのペン組立作業



▲イオンタウン館山店の花壇の管理業務



▲クリスマスソングの大合唱です。

▲合唱団「キララ」の皆さん。歌と踊り、楽しいステージでした。

今年のメインイベントは、合唱団「キララ」の皆さんによる演奏です。山口靖代先生の指揮、竹本三佳先生伴奏で「ジングルベル」「たのしいね」「富士山」「ふねむと」などが披露されました。

素敵な振り付けで、利用者さんの中には一緒に体を動かしたり、いまして。感動的な時間を過ごすことができ、来年も楽しい企画を作りたいと思います。

を受けとり、みなさん笑顔にあふれていきました。

12月22日、中里の家、ワークホーム合同のクリスマス音楽会を行いました。

初めに中里の家、荒井智広さん指揮、職員の伴奏によるクリスマソングの合唱を行い、サンタクロースに扮する武田理事長、鎌田・本部事務局長からのプレゼントタイムへと続きました。プレゼント

中里の家
中里
ワークホーム

クリスマス音楽会

支援員 大岩 真人



▲プレゼントをいただき、喜びの笑顔です。

法人

もちつき会

支援員 榎本 飛鳥



▲おいしいもちつくぞ!!

12月28日、今年最後の行事はもちつき会! 寒空の下、沢山の方々にご参加いただきました。当日は風が強く、なかなか火が点かないというアクシデントがありました。が、無事に開催できました。

利用者さんからは「まだかまだか」の声が…やっと出来上がり運ばれてきたおもちを前に、沢山の



▲おいしいな!

中里の家

大相撲観戦

支援員 堀江 拓也



▲よいしょ、よいしょ

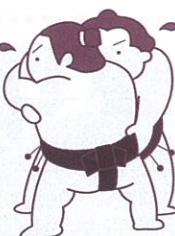


▲記念に1枚☆彌

1月12日に大相撲初場所五日目を観戦してきました。毎年恒例の相撲大好きグループでの「一ノード別旅行。一年間楽しみに待ち、前日からワクワクし寝られなかつた方もいるのですが…」

国技館に入ると大好きな力士の方がたくさん。みんなお目当ての力士がいよいよで応援にも熱が入っていました。周りの方々の声援に合わせ「コイシショー」みんなと息もあいバッヂ。応援していた力士が負けるとため息をもらしていました。

また、来年相撲観戦できるよう、一年間頑張っていきたいと思います。次回まではテレビの前で応援を…。



中里
ワークホーム

ラーメン博物館に行つてきました

支援員 大出 貴博



▲お腹いっぱいになりました



中里
ワークホーム

和麺家中里看板設置

支援員 小池 雄吾



和麺家中里ではより多くの方に「」来ていただけるよう、12月に『看板』を設置いたしました。今まで和麺家中里はそば屋ではなく、製麺所だと思われていたようです。そこで、『看板』を設置し、より多くの方に食事処であることを知つて頂こうと考えました。『看板』を設置してから食事処であると知り、「」来店下さった方もいらっしゃり、効果てき面です。多くの方に「」来店頂き、とても喜ばしいことではあります。一度きりのご来店になってしまわぬように接客や製品の質の向上にスタッフ一同努めていきます。これからも和麺家中里をよろしくお願いします。

にじのかけはし

新年を迎えて間もなく田植えに向けての準備が始まりました。そこで今回は稻作の最初の工程、耕運についてお話をしようと思います。耕運とは固まつた土を反転させるいじ。要するにトラクターで行っているアシです。耕運を行うメリットは主に稻刈りの際に出たわらを土と混ぜ肥料にする。雑草が冷気に触れ枯れることで繁殖を防ぐ。土の中に空気を入れ微生物の働きを活発にし有機物の分解を促す。以上の3点です。その後はくろ塗り、水田に水が入つたら荒代、代かきの順で進めたところで田植えの準備が整います。今回の記事が発刊されている頃にはおそらく荒代まで進んでいることでしょう(汗)。



▲今年も頑張るぞ!

利用者さんには昨年の稻刈り後からの水田の草刈り、水漏れ防止用の波板撤去と身震いする寒さの中元気に参加してくれています。(本当に感謝です!) 田植えの様子については次回の『にじのかけはし』にてお伝えしたいと思います。

中里
ワークホーム

水田準備が始まりました!

支援員 中田 真樹

晴天に恵まれた2月3日、安房神社の節分祭に利用者さんと徒歩で参加しました。神社には既に多くのお客様が並んでいました。館山市長やさかなクリニックが登場して、さあー豆まきの始まりです。利用者さん個々に袋を渡し『みんなでいっぱい豆を拾いましょう。』と一致団結。最前列で豆を拾う人もいれば、手を上げて『こっち下さい。』とアピールする人も。皆で豆取り合戦をしてきました。終了後には沢山取れたと笑顔で袋の中を見せ合っていました。

毎日練習してきた合奏「せんのはつづくよ じいまでも」大成功だつたね。思い出がたくさんつまつたDVDの放映、どうだつたかな? 足形カレンダーをプレゼントしたら、お母さんたちも笑顔になつたね。みんな、とても楽しそうだつたよ。

今年は過去最多の、10組の親子に参加していただきました。入学や入園でこすもすを離れていくお友だちがいます。寂しくなりますね。また、いつでも会いに来てくださいね。

多くの方々に見守られ、無事つくしんぼクラスのお友だちの成長をお祝いすることができます。これからもこの成長を温かく見守っています。いつもお頼みます。



▲これから豆まき行ってきます

中里の家

節分会

支援員 貝瀬 智子

2月23日、修了式が行われました。キリッとしたスーツやシックな色合いのワンピースを身に纏つたみんなはとても素敵で、いつもよりお兄さん、お姉さんに見えました。

毎日練習してきた合奏「せんのはつづくよ じいまでも」大成功だつたね。思い出がたくさんつまつたDVDの放映、どうだつたかな? 足形カレンダーをプレゼントしたら、お母さんたちも笑顔になつたね。みんな、とても楽しそうだつたよ。

今年は過去最多の、10組の親子に参加していただきました。入学や入園でこすもすを離れていくお友だちがいます。寂しくなりますね。また、いつでも会いに来てくださいね。

多くの方々に見守られ、無事つくしんぼクラスのお友だちの成長をお祝いすることができます。これからもこの成長を温かく見守っています。いつもお頼みます。



▲卒園おめでとう! 小学校楽しみだね

こすもす

つくしんぼクラス修了式

支援員 小宮 瑞美

中里の家

労働環境について、考えました！

事務員 田村 英之

最近、「ユースた騒がせ」、「フリック企業」「ブラックバイト」をテーマに施設内研修をやせました。イメージはつづけじ説明できないという方が多かったので、そこから触れていました。

辞書によると、「ブラック企業」とは労働条件が劣悪、過重労働・過剰なノルマを強いる、ハラスメントを放置する企業のことです。また、「ブラックバイト」は労働条件が劣悪であるアルバイトのことで、日常生活や学生生活に支障ができるまで働かせる、アルバイト職員の立場や知識がないことに付け込み、残業代の不払いや有給休暇の不付与、モラハラやセクハラなどの違法行為が行われることがあります。

定義がわかつたといひで、研修参加者に当施設の現況の振り返りをしていただきました。有給はもらえる、残業代ももらえる、過重労働・過重なノルマはない：あれ？ 休憩は…振り返るなかで休憩時間に疑問符が付きました。そう、当施設の問題は休憩時間が取りつい状況であることです。

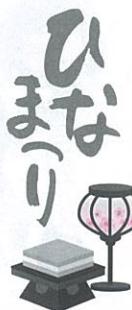
休憩時間は疲労回復が主な目的です。休憩なしの長時間労働は能率や集中力が低下し、災害も起きやすくなります。それは、職員だけでなく利用者さんにも影響し、利用者さんの事故や怪我も起きやすい状況とも言えます。

ここで、休憩が取りづらい状況ではあるけれど、その中でも休憩がとりやすい時間帯を、グループ討議で洗い出してもらいました。結果、男性女性、担当や係によつても休憩のとれそうな時間帯は違ひ、管理運営側が設定している休憩時間とのズレも確認できました。しかし現場の声を聞くことができたので、休憩時間の再設定ができそうです。じつしても休憩がとれなそな勤務や係は業務内容の見直しもしていく予定です。

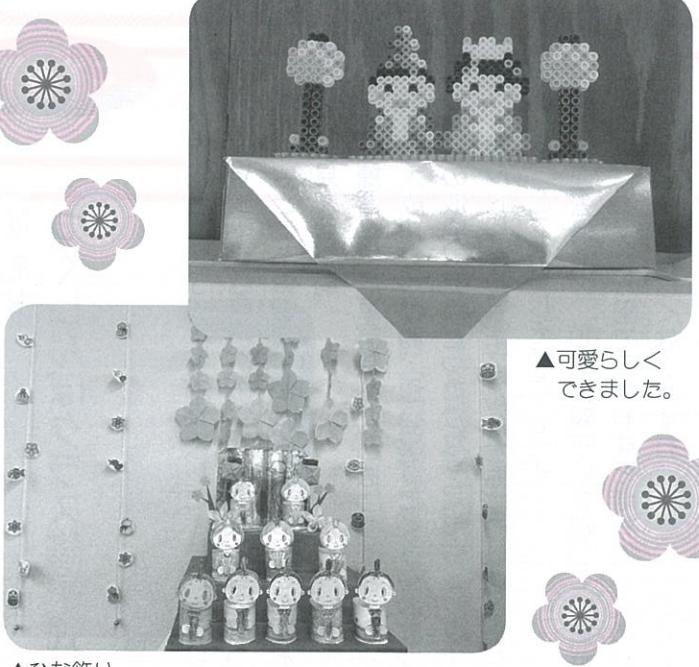
現場の職員は利用者さんのこと第一に考えていていますが、管理運営側は職員のことも考えなければなりません。今後もこのような研修を通して、労働環境の改善に努めていきたいと思います。

桜の里

季節を感じる ひな祭り



▲可愛らしくできました。



▲ひな飾り

私たちが行つていい創作活動では、『季節を感じる』をテーマに四季折々の創作物を作製しています。

3月のテーマは『ひなまつり』。いつも素敵でかわいいなお雛さまの完成です。銀紙を黄色のペンで塗ると立派な金の屏風に。お雛様はトイレスリペーパーの芯を使って作製しました。普段なら捨ててしまつるものも、ちょっとしたひと工夫で素敵な作品に変身します。お近くにお越しの際は、桜の里にぜひ季節を感じにお立ち寄り下さい。

～障害者就業・生活支援センターの業務をふと振り返って～

支援員 金木 隆裕

センターが開設されて7年が過ぎ、センターの象徴「黄色ポルテ」の走行距離も14万キロを超えるました。昨年度の就職件数は30名を超えたが、センターの在り方やニーズというものは時間の経過とともに変わってきました。今は就職件数ではなく、就職してからの「定着」に視点が変わりつつあり、相談内容も多様なライフスタイルへあわせた生活支援が増え、「支援の質」が今後益々重要になってくると感じる毎日です。

私の担当Aさんは最近都心部へ移住しました。5年前に一度就労しましたが離職、ワークホームでの移行支援と施設外就労で社会性を養い、「都会の生活」「接客業」というAさんの希望に沿って支援を重ねてきました。電車に一人で乗ったこと・通勤ラッシュの経験も無く…全てが変わる新生活ではありますが、先日仕事が楽しいと声を弾ませて私に報告してくれました。支援者側も「過剰に囲い込まず、見守る勇気」の必要を感じながら、今後も新しい生活を遠くから見守っていきたいと思っています。

センターへ相談されてくる方達には一人ひとりの人生があり、その重さを忘れるず、地域にとつて信頼される相談機関として今後も在り続けていけるよう今後も取り組んでいきたいです。



みんなのオアシスに

支援員 豊崎 裕二

「パンはあんのかい?」「あんじごろくる?」

聞き慣れた房州弁を聞きながら毎日地域の皆様の優しい笑顔に支えられふれあいショップ平砂浦も熱く営業しております。

春は野菜・夏はかき氷・秋は新米・冬はいちごと一年間にぎわいが続き地域に愛されて12年間歩んできました。お気軽に…、いこいの場として…、待ち合わせ場所として…、人と人をつなぐ…、ふれあいの場所として…。



▲おすすめ商品です。



▲たくさん売れるといいね。

新職員紹介

中里ワークホーム



支援員 斎藤 仁志
11月からお世話をなっています企業
支援員の斎藤仁志と申します。

す。福祉には無縁で過ごしてきましたので、この年となつて驚きの
毎日です。痛みが無ければもういろいろお役に立てるのでしょうか
が情けない限りです。サービス業、メーカー、農業を経験してきま
したが1からのスタートです。ご指導よろしくお願ひいたします。

中里ワークホーム



支援員 国本 晴二
初めまして12月より勤めさせて頂いています国本です。

業務及び支援について解らない事が多
いですけれども少しでも早く利用者の皆様の力になる様に努めさせ
ていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

中里の家

中里ワークホーム

送迎 直井 秀樹



初めまして、12月からお世話になつております直井秀樹と申します。海が好きで館山に移住して約3年になります。

送迎車を運転するので、安全かつ無事に送り届け、また、利用者が気が持ちはよく仕事が出来るように笑顔と声かけを心がけ頑張りましたが、気付かず仕事は初めてなので職員の方々にはご迷惑をおかけすると思いますが宜しくお願いします。

中里の家

中里ワークホーム

事務員 牧野 彩奈



初めまして、12月より勤務させて頂いています牧野と申します。

早く仕事を覚え、皆様にご迷惑をおかけしないようにしたいと思います。
よろしくお願ひ致します。

中里の家

中里ワークホーム

事務員 牧野 彩奈



初めまして、12月より勤務させて頂いています牧野と申します。

早く仕事を覚え、皆様にご迷惑をおかけしないようにしたいと思います。
よろしくお願ひ致します。

中里の家



支援員 渡邊嘉津代
2月1日よりお世話になつております「渡邊嘉津代」です。息子と二人で那古に住んでいます。子育て実の両親の介護経験もあります。困った時は職員の皆さんに教えて頂くようにしています。そして利用者の方と一日も早く慣れ、その場に応じた言葉がけをしたり、相手の目線に立てるよう努力中です。好きな言葉は忍耐と努力です。

中里の家

中里ワークホーム

支援員 渡邊 良美



今まで介護の仕事をしてきました。私の両親は身体障害者だったこともあり、また、仕事で学んできたものをこちらの施設で皆さんと様々な作業や活動を通して利用者様をサポートする事で共に成長して行きたいと思っております。

若い皆さんと一緒に楽しく支援して行きますのでよろしくお願ひいたします。

社会福祉法人安房広域福祉会役員

理事 武田金市郎 星谷洋三

監事 岡田義之 泰弘

監事 近藤房吉 登真

監事 小林好雄 清則

任期 平成29年1月23日から
平成29年6月の定時評議員会終結時

安房広域福祉会第二者委員の就任

外部委員 岡崎武子

監事 田村英之

任期 平成29年1月23日から
平成31年1月22日

任期 平成29年4月1日から
平成33年6月定時評議会終結時

安房広域福祉会評議員選任・解任委員会委員

監事 伊藤勝美

事務局員 田村好雄

監事 土屋一雄

事務局員 近藤英之

任期 平成29年4月1日から
平成33年6月定時評議会終結時

編集後記

春の訪れを感じられるようになった今日この頃。

新緑や咲き乱れる桜の花々の彩りは、私達を穏やかな気持ちにさせてくれます。

「卒業」、「入学」という一つの節目を迎えられ、新たな旅立ちに「おめでとう、がんばれ!」と心からエールを送りたいですね。
(高橋)